

平成30年度定期監査結果報告書

1 監査の対象課等

全課・局・室及び富ヶ丘小学校、富谷第二中学校

2 監査期間

平成30年10月29日(月)から平成30年11月14日(水)まで

3 監査の方法

今回の監査は、平成30年9月末日現在における財務に関する事務の執行及び事務事業の一部について、関係書類を調査するとともに関係部課長及び担当職員からの説明を聴取する方法により実施した。

なお、備品の管理状況についても1公民館、小・中学校各1校において抽出した備品の現物確認を行った。

4 監査の結果

平成30年度一般事務及び財務に関する事務の執行について、おおむね適正に執行されていると認める。

意見は次のとおりである。

①財源の確保について

市税等の未納については徴収率向上の努力を怠らず、引き続き一層の縮減に努められたい。

また、私債権である各種料金等においても収納に努力するとともに、庁内統一した滞納整理簿様式を作成し継続的に管理を徹底されたい。

②備品管理について

年に1度は棚卸を行う等、良好な管理を継続されたい。

また、学校における備品廃棄は、関連部署との連携を密にし、計画的に対処されたい。

③人事組織管理について

入庁5年以内の若手職員が多く、職員のスキルアップが急がれることから、自治体職員としての意識改革及び資質の向上を図られたい。

④予算の管理について

歳入歳出における予算の管理を徹底して、年度末に向けて遺漏のないよう努められたい。

⑤市が事務局を持つ団体の会計処理について

会計処理は適正に行われていたので、今後とも継続されたい。